

平成 24 年 11 月 9 日
総 務 部

H24. 10. 31 中央労使協働委員会資料

日本一、働きやすい県庁（業務改善）職員提案の実施

平成 24 年 10 月 31 日
中央労使協働委員会小委員会

1. 目的

中央労使協働委員会においては、昨年度から「日本一、働きやすい県庁（しょくば）」の実現に向けた検討を重ね、「安全・安心」「時間」「男女共同」の3つのキーワードのもと、職場の「支えあい」を進め、職員それぞれがゆとりを感じ、健康で意欲を持ち、職場全体で支えあえる環境のなかで楽しくいきいきと働き続けられる職場である「日本一、働きやすい県庁」の実現をめざすこととしています。

こうした取組の一環として、今回、職員が自らの業務や職場環境を見つめなおし、職場全体で総勤務時間の縮減などの改善を進めることを通じて、「日本一、働きやすい県庁」の実現につなげるため、「日本一、働きやすい県庁（業務改善）職員提案制度」を新たに構築します。

2 概要

(1) 募集提案

業務や職場環境を見直し、「日本一、働きやすい県庁」をめざすとともに、こうした改善等を通じて県民サービスの向上につながる提案を募集します。

(2) 提案者

各職場単位とします。職員一人ひとりからの提案を各職場労使協働委員会等で話しあった提案を募集します。

(3) 職員提案の流れ等

別添「日本一、働きやすい県庁（業務改善）職員提案 一取組の進め方」
「日本一、働きやすい県庁（業務改善）職員提案募集要領」

(4) スケジュール

募集開始 10月31日
提出期限 12月14日
年度末 中央労使協働委員会で実現状況等の報告

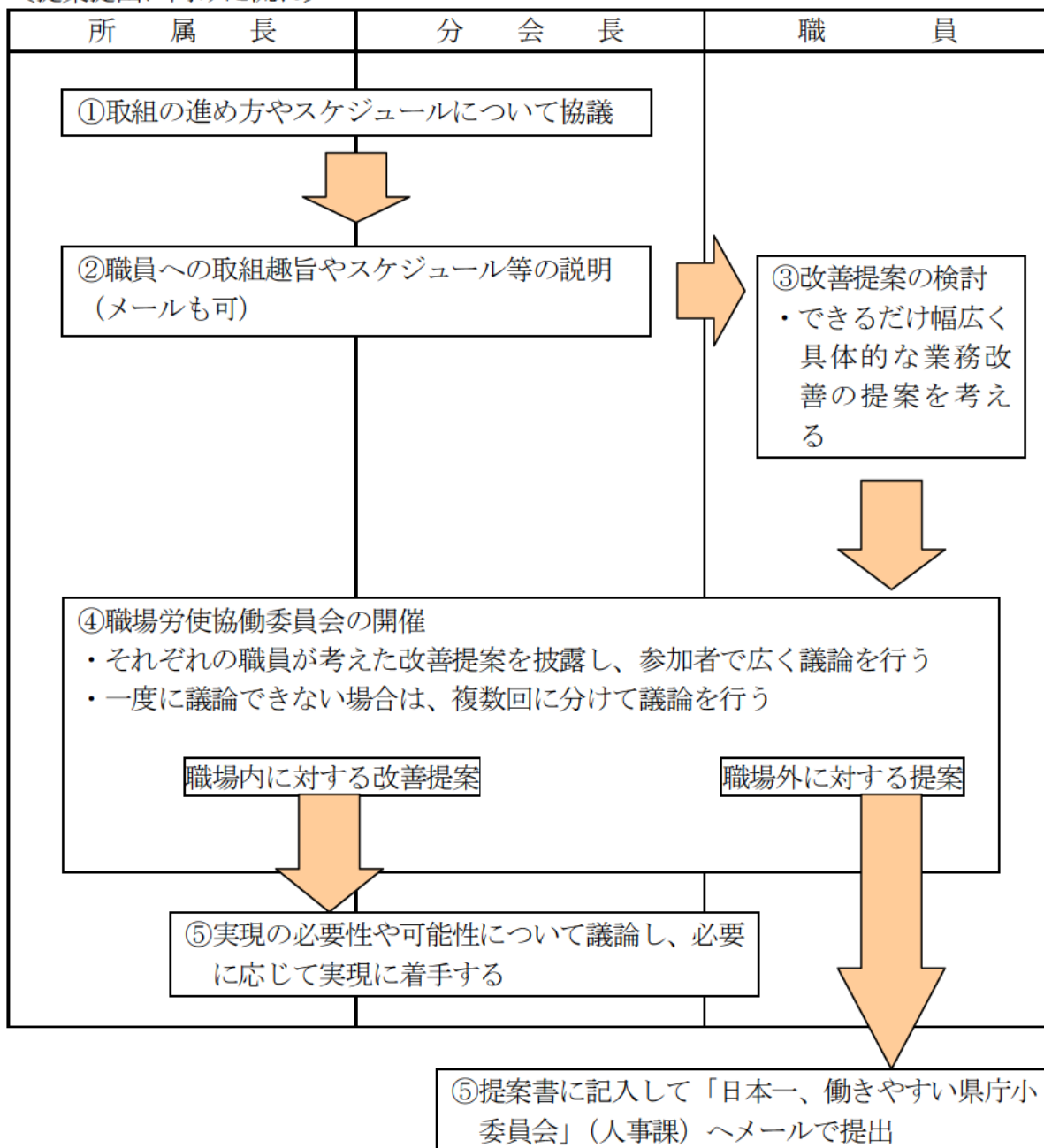
日本一、働きやすい県庁（業務改善）職員提案 ー取組の進め方ー

1 職場における議論、提案提出に向けた流れ

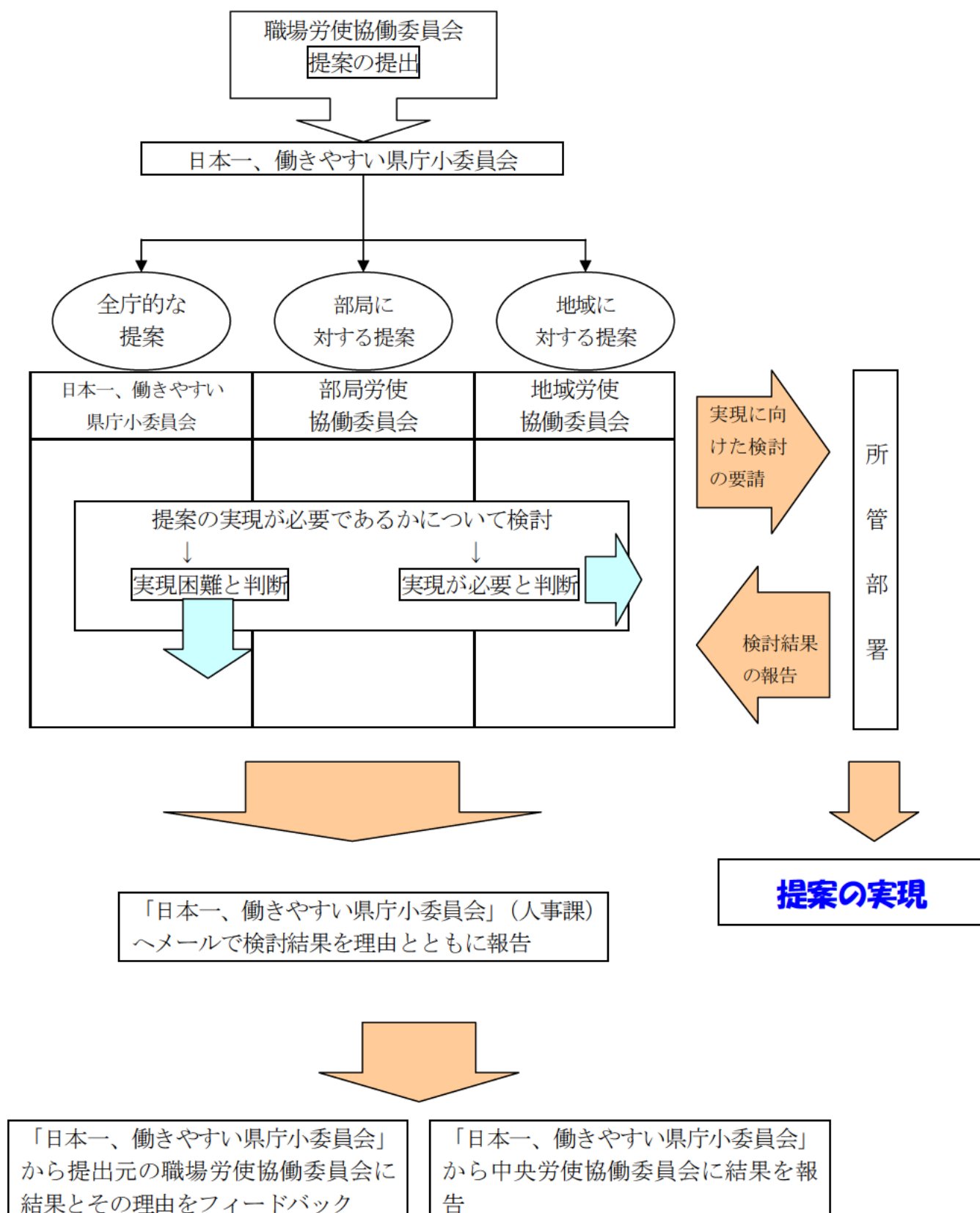
職員それぞれが健康で意欲を持ち、職場全体で支えあえる環境のなかで楽しくいきいきと働き続けられる職場である「日本一、働きやすい県庁（しょくば）」を実現していくためには、まず職員一人ひとりがしっかりとその実現に向けて必要なことについて考えるとともに、その実現に向けて組織全体で取り組んでいくことが大切です。

普段、何気なく「もっとこうすればいいのに」と感じている個々人のアイデアをこの機会に職場内に発信し、話し合い、「日本一、働きやすい県庁」の実現につなげましょう。

〔提案提出に向けた流れ〕



2 提案提出後の流れ



日本一、働きやすい県庁（業務改善）職員提案募集要領

1. 制度の趣旨

職員が自らの業務や職場環境を見つめなおし、職場全体で総勤務時間縮減などの改善を進めることで、職員それぞれがゆとりを感じ、健康で意欲を持ち、職場全体で支えあえる環境のなかで楽しくいきいきと働き続けられる職場である日本一、働きやすい県庁（しょくば）をめざすとともに、こうした業務や職場環境の改善等を通じて県民サービスの向上につなげます。

2. 募集提案等

(1) 募集提案

業務や職場環境を見直し、「**日本一、働きやすい県庁**」をめざすとともに、こうした改善等を通じて県民サービスの向上につながる提案を募集します。

(2) 期間・事業費

提案する改善策の期間や費用は特に問いませんが、厳しい財政状況を踏まえ、費用のかからない提案を歓迎します。

3. 提案者

各職場単位とします。職員一人ひとりからの提案を各職場労使協働委員会等で話し合い、提案をお願いします。

4. 提出先、期限等

■提出先及び提出方法 「日本一、働きやすい県庁小委員会」
(人事課)へメールにより提出

■提案書の提出期限…12月14日(金)必着とします。

5. 提案の取扱

- (1) 「日本一、働きやすい県庁小委員会」、もしくは提案内容に応じ「日本一、働きやすい県庁小委員会」が指定する担当部局・地域労使協働委員会において「7. 提案に向けて大事にするポイント」に基づき、提案の実現が必要であるかについて検討します。検討結果については、理由を付して提案者にフィードバックします。
- (2) 上記の検討結果を踏まえ、担当部局・地域が提案実現に向けた検討を行います。
- (3) 提案の実現状況等については、中央労使協働委員会で報告します。
- (4) 実現した提案については、改善策の実施経過を踏まえ、優良なものは表彰します。

6. スケジュール

10月31日	<input type="checkbox"/> 募集開始（職場労協等を活用した議論を開始）
12月14日	<input type="checkbox"/> 提案募集締切 <input type="checkbox"/> 提案内容の検討

(随時)	<input type="checkbox"/> 提案内容の実現)
現年度末(予定)	<input type="checkbox"/> 中央労使協働委員会で実現状況等の報告

7. 提案実現に向けて大事にするポイント

応募のあった提案については、次の①～④のポイントに基づき、実現が必要であるかどうかを検討します。

- ① **有効性** 提案の内容（方法）は、業務改善効果に対して有効であるか。
- ② **実現可能性** 提案の実現にあたって必要となる手間や予算等を確保することが容易かどうか。
- ③ **重要性** 優先的に早期に実現することで、業務改善効果を高めることにつながるかどうか。
- ④ **その他期待できる効果** 人材育成等の波及効果が将来的に期待できるか。

8. 問い合わせ先

この制度に関する質問などは、下記までお気軽にお問い合わせください。

日本一、働きやすい県庁小委員会 事務局
 人事課 山川(059 224 2103)
 職員労働組合 林(059 224 3100)

【様式】 提案書 ※その他必要な資料は別途用意すること

1	所属名	
2	タイトル	
3	現状	
4	課題	
5	めざすべき姿	
6	提案概要	
7	提案内容	
8	PR ポイント	①有効性 ②実現可能性 ③重要性 ④その他期待できる効果